

蔦壁照らす

(平成三十年第百十回記念祭歌)

小田嶋元哉君 作歌・作曲

一

蔦壁照らす 赤き火は
ひやくとおつた
百十伝わる 篝火よ
もろこえあ
諸声上げよ 意気高く
とも
寮友に負けじと 先へ行け

二

星降る北は 赤き空
ほしふ
きでき
汽笛が街を 切り裂けば
こた
応え 轟き 廻る酒
きみ
君よ恵迪 北の星
ほし

三

炬燵布団で 蠢くは
こたつ ふとん
あす
明日を夢見る 若学者
みみにく
その身醜く あつたとて
きみ
君が心よ 清からん

四

秋早去りぬ 朝ぼらけ
あきはやす
もや
靄こめ朝日 赤き槍
あさひ
ひとふ
一振り天を 割りたまえ
きみ
君ぞ苦難の 望みなれ
のぞ

五

新しき日々 朝は来た
あた
きみわす
君忘るるな その心
にひやく
二百の階段 第一歩
うた
歌え 笑え 誠なれ
わら
まこと